

(2) 平成25年度決算 環境会計集計表

環境保全の取組みに伴うコスト、経済効果及び環境保全効果 / 集計範囲(上水道、工業用水道) / 対象期間:平成25年4月1日から平成26年3月31日

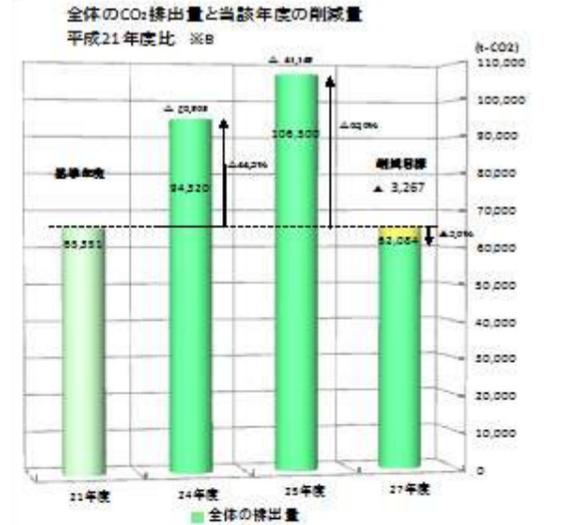
集計に際しては環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」を参考にしており、会計情報については表示単位未満端数を四捨五入した税抜き金額としています。

※1 環境保全に必要とした職員の人件費については、水道事業の本事業費に組み込まれており、環境保全にかかる業務部分のみを環境保全コストとして計上していません。

環境保全コスト		主な取組み		環境保全コスト(千円)		
分類	内容	費用額	投資額			
事業エリア内コスト	公害防止 生産設備の環境負荷低減 の取組等のためのコスト	排出ガス対策用吸排機の使用 ※2	—	—		
		水質改善による水質の監視 ※3	—	—		
		太陽光発電(平成10年度～)	※4 32,532	0		
	施設環境保全	水力発電(平成16年度～)	※4 6,035	0		
		取・配水ポンプの回転速度制御(昭和42年度～)	125,742	0		
		ポンプの経路短縮による省エネルギー化(昭和55年度～)	0	0		
		ポンプの運転方法改良(平成13年度～)	0	0		
		経済運転方式の変更(平成15年度～)	3,197	0		
		オン注注入制御の改良(平成14年度～)	5,281	0		
		高効率型照明器具の採用(平成15年度～)	398	0		
	公害防止、オン/オフ等 等のためのコスト	無注式止水器導入による省エネルギー化(平成16年度～)	24,420	0		
		資源循環	取水ケーシングの有効利用及び発生量の削減(昭和54年度～)	50,788	0	
			資源リサイクル(平成14年度～) (再生アスファルトおよび再生砕石使用)	—	—	
持続可能な資源循環の ためのコスト	不用品売却 ※2	—	—			
上・下流コスト	主たる事業活動に付随してその上流又は下流で生じるコスト	環境にやさしい車の導入 ※2	—	—		
		エコケーブルの使用 ※2	—	—		
管理活動コスト	浄水場の植木及び芝生の管理 ※3	グリーン購入の推進 ※2	—	—		
		滋賀県大津市北松水源産林の管理	990	—		
環境保全のための管理活動で、間接的に かかるコスト	広域活動等 ※5	浄水場の植木及び芝生の管理	—	—		
		広域活動等	684	—		
研究開発コスト	研究・開発 ※6	0	—			
研究開発活動におけるコスト						
社会活動コスト	水源・水質関係団体における活動	0	—			
事業に直接関係のない社会活動における 取組のためのコスト						

環境保全効果		
削減の単位	削減量	削減方法の概要等
CO2 t-CO2 当	251	省エネ対策を実施し、削減効果を生じさせています。
CO2 t-CO2 当	1,034	省エネ対策を実施し、削減効果を生じさせています。
CO2 t-CO2 当	25,180	太陽光発電設備の導入により、削減効果を生じさせています。
CO2 t-CO2 当	1,968	水力発電設備の導入により、削減効果を生じさせています。
CO2 t-CO2 当	903	回転速度制御を実施し、削減効果を生じさせています。
CO2 t-CO2 当	218	経路短縮を実施し、削減効果を生じさせています。
CO2 t-CO2 当	4,923	運転方法改良を実施し、削減効果を生じさせています。
CO2 t-CO2 当	279	経済運転方式を実施し、削減効果を生じさせています。
CO2 t-CO2 当	299	オン注注入制御を実施し、削減効果を生じさせています。
廃棄物削減量 (t)	23,701	資源リサイクルにより、削減効果を生じさせています。

経済効果	
金額(千円)	削減方法の概要等
7,081	省エネ対策を実施し、削減効果を生じさせています。
34,128	省エネ対策を実施し、削減効果を生じさせています。
749,548	太陽光発電設備の導入により、削減効果を生じさせています。
62,189	水力発電設備の導入により、削減効果を生じさせています。
25,496	回転速度制御を実施し、削減効果を生じさせています。
6,344	経路短縮を実施し、削減効果を生じさせています。
140,286	運転方法改良を実施し、削減効果を生じさせています。
7,945	経済運転方式を実施し、削減効果を生じさせています。
8,464	オン注注入制御を実施し、削減効果を生じさせています。
88,452	資源リサイクルにより、削減効果を生じさせています。
205,353	資源リサイクルにより、削減効果を生じさせています。
45,978	不用品売却により、削減効果を生じさせています。



平成25年度CO2削減効果	
CO2 t-CO2 当	削減量
全体の排出量	106,500
削減効果	△41,149
削減率	△63.0%

平成25年度環境保全効果	
削減量	削減効果
CO2 t-CO2 当	▲ 35,055
廃棄物削減量 (t)	▲ 23,701

平成25年度環境保全コスト(千円)	
費用額	投資額
250,067	0

平成25年度環境保全効果の合計(千円)	
金額	削減効果
1,381,264	

※1 環境保全に必要とした職員の人件費については、水道事業の本事業費に組み込まれており、環境保全にかかる業務部分のみを環境保全コストとして計上していません。

※2 これらの取組は、実施のために特別経費を必要としないために、環境保全コストとして計上していません。

※3 これらの取組は、水道事業の本事業費に組み込まれており、環境保全にかかる金額のみを環境保全コストとして計上していません。

※4 太陽光発電の費用のうち14,459千円、水力発電の費用のうち1,175千円は、国庫補助金による収入です。

※5 環境保全コストとして水道管(浄水場見学等)、水の流れツアーにかかる費用を計上していません。

※6 水質改善等に利用した浄水場環境改善の推進に関する調査研究(平成23年度)

※7 t-CO2とCO2などの温室効果ガスの削減、吸収、貯蔵等の量を、相当する温室効果ガス削減率の換算に換算した単位であり、国及び電力会社が公表した換算率に基づいて算定しています。

※8 大阪府環境局公表の環境改善計画では、平成27年度までに水道に由来する温室効果ガス削減率を、平成21年度削減率が53,267t-CO2削減(平成21年度比5%削減)することとしています。

7 環境コミュニケーション

水道局では、水源環境保全や水道への関心を高めることを目的として、様々な活動を行っています。

《環境保全などを目的とした主な広報活動》

水道週間行事

水道局が取り組んでいる安心・安全な水づくりや環境施策を伝えるため、毎年6月の水道週間に、浄水処理の実験やパネル展示を、多くのお客さまが集まる商業施設などで実施しています。

区民まつり

水の大切さと水道事業の使命である「安全で良質な水の安定供給」のための取り組みなどをPRするため、市内各区で開催される区民まつりに参加し、パネルの展示や事業チラシの配布を実施しています。

水の流れツアー

上下水道の役割や「水」に対する関心と理解を深めていただくため、水陸両用バスで淀川（大川）を周遊し、市内の上下水道各施設を見学するツアーを実施しています。

浄水場見学

市内小学校3・4年生を主な対象として、社会科の副読本「わたしたちの大阪」に掲載されている「命と暮らしをささえる水」をより深く学習していただくため、学校活動の一助として浄水場見学を実施しています。

「水」の絵コンクール

市内在住、在学の小学生を対象に、水道や水にまつわる作品を描いていただくことにより、生活に身近な水道に対する意識や関心を深めていただくため、「水」の絵コンクールを実施しています。

水道教室

小学校などを訪問し、高度浄水処理の仕組みや水の大切さを学んでいただくため、水道教室を実施しています。



水道週間



浄水場見学

《広報用パンフレット等》

名称	内容等
わたしたちの水道	大阪市水道局の事業について説明しているパンフレットです。
水のおはなし	大阪市水道局の事業について、子ども向けに説明しているパンフレットです。
大阪の水をささえる ～水道のしくみ～	大阪市水道局の事業について、わかりやすく案内しているDVDです。 (大阪市内の市立図書館にて貸出および視聴いただけます。)

※これらの他にも各種媒体により、水道事業に関するさまざまな情報（環境活動を含む）を発信しています。

ホームページ

水道事業に関するさまざまな情報をタイムリーに発信しています。
(環境報告書も掲載しています。)

○トップページ

<http://www.city.osaka.lg.jp/suido/>

○広報用ビデオ・パンフレット

<http://www.city.osaka.lg.jp/suido/category/989-9-0-0-0.html>



表紙 平成26年度「水」の絵コンクール特選作品

上段	加賀屋東小学校	6年	奥田 つばささん	「葉からしたたり落ちる水」
下段左	大桐小学校	3年	江口 彩葉さん	「みじかな水で水分ほきゅう」
下段右	鯉江小学校	1年	田中 亜美さん	「流れるプール」



大阪市水道局環境理念

大阪市は「水の都」と言われるように、古来、水とともに生き、水とともに栄えてきました。大阪市水道局もまた、一世紀を超える長い歴史の中で、琵琶湖・淀川水系の豊かな自然環境に育まれながら、水道事業を営んできています。

昨今、地球温暖化をはじめとする環境問題が世界的規模でクローズアップされており、水道第2世紀目に入った我が国の水道事業においても、人類の生命を支える安全で良質な水を確保するため、健全な水循環系の構築が求められているとともに、豊かな市民生活や高度な都市活動の一翼を担う都市基盤として、環境共生型の持続可能な社会を築く上で果たすべき水道の役割がますます重要なものとなってきています。

このため、今後、大阪市水道局は、省エネルギー対策やリサイクルの推進による環境負荷の低減、水源水質の保全に関する様々な取組みはもとより、水道の有する施設や技術を活用した積極的な地球環境への貢献策を模索することにより、環境にやさしい水道システムを構築し、大阪市の一員として「環境先進都市大阪」の実現をめざしてまいります。

平成17年3月 制定

大阪市水道局の環境問題への取組みやこの報告書についての皆さまのご意見、ご感想をお待ちしています。

お問い合わせ先



大阪市水道局

〒559-8558 大阪市住之江区南港北2-1-10
電話番号：06-6616-5403 ファックス：06-6616-5409
メールアドレス：comp3@suido.city.osaka.jp

携帯電話から大阪市水道局の携帯版サイトへアクセスすることができます。

※カメラ付きの対応機種で右記のQRコードを読み取ってください。



平成27年3月発行